

3on3の長野大会のルールについて

以下の内容は、長野市アイスホッケー協会が主催する大会に適用するものとする。

◎用具 ゴールは IHF 指定特製ゴール

◎試合開始・各ピリオドの開始、フェイスオフについて

AリンクBリンク共に両レフェリーは片腕を上げアイコンタクトし、ブザーでパックを落としプレー開始。

ホイッスル後のフェイスオフは全てセンターで行う。

- ① 試合時間は3ピリオド ロス込み15分 インターバル3分
- ② パックはブルーパックを使用する。
- ③ 1シフトで出場できる選手はGK1名 プレーヤー3名
- ④ プレーヤーのチェンジは**60秒**ごとにブザーで知らせその都度、出場選手全員(試合前に提出したオールメンバー表の選手全員)を並んでいる順番通りに出場させる(ところてん方式)。メンバー交代時にはGK以外の3名は**全員が交代**する。

交代選手が3名いない場合(登録メンバーが6名以下)は、コーチにタッチを行い、プレーを続ける。コーチにタッチしてリンクに残った選手は、次のホイッスルでは必ず交代する。

60秒になったら、パックはその位置でそのままにして動かさないで交代に向かう。

自チームが有利になるようなアウトオブバウンドはペナルティーとなる。

- ⑤ **ペナルティーは PS とします。その際ペナルティを受けた選手が PS を行い、当該選手以外はゴールと反対側の壁に手をつき、ホイッスルと同時にスタートする。PS 中にブザーが鳴った際は、PS 終了後交代としフェイスオフから始める。**
 - ⑥ アイシング、オフサイドはない。
 - ⑦ レフェリーは1名とし、赤の腕章を着ける。
 - ⑧ オフィシャルは、得点係1名 スコア係1名 スコア補助係1名 タイムキーパー1名とし、スケートを履いたレフェリー補助員が、得点時のパック拾い、ゴールが動いた際の再セットを行う。プレー中ゴールが動いた場合は、レフェリーも直すようにする。
 - ⑨ レフェリーは得点時のゴール、アシストをリンク内のスコア補助員に伝える。
 - ⑩ ショット数は数えない。
 - ⑪ レフェリーはゴールの判定を確かにするために、ゴールの横に位置するように努める。
- * 選手がベンチに戻る際は必ず自陣のベンチに戻ることとし、相手チームのベンチ等有利となる戻り方をした場合はアンスポーツマンライクコンタクトとする。
- * ブザーが鳴った時点でパックからスティック、及びスケートブレードを離さないプレーヤーにはペナルティーを課す。

長野市アイスホッケー協会 レフェリー委員長 池田 秀昭